

徳島県徳島市

中心市街地活性化基本計画

【1期計画:令和4年4月～令和9年3月】

【目指す中心市街地の都市像】

人と人がつながり、新たな挑戦や投資が生まれる街。

【徳島市の概要】 人口:251,403人(R3.4.1・住民基本台帳)、面積:191.52km²

今から約440年前、豊臣秀吉によって行われた四国征伐時の功績により阿波に入国した蜂須賀家政が徳島城を築城し、城下町が形成されたのが都市としての始まりで、藍産業を中心に商人の街として栄えた。現在も県都として、政治・経済・文化の中心的役割を担っている。

【中心市街地の課題等】

課題1 都市のランドマークの喪失

商業施設や文化施設の閉館が相次いだことにより、本市の中心市街地では集客の核となるランドマーク施設が減少し、求心力のある魅力的な都心が形成されていない。

課題2 商業需要を底上げする集客要素の必要性

かつての中心市街地は買い物をする場所としてにぎわっていたが、郊外に数多くの大型商業施設が立地する中、本市の特性を生かした商業需要を底上げする集客要素が求められている。

課題3 まちなか労働人口の減少

本市の従業者の多くを占める卸売業・小売業について中心市街地での縮小が続いており、それに伴って中心市街地で働く人数も減少傾向にある。

課題4 面的な人の広がり欠如

中心市街地には観光施設などの集客拠点が点在しているが、拠点間を結ぶ動線上に散策を促す仕掛けが乏しく、まちなかにぎわいづくりに繋がっていない。

課題5 歩いて暮らせる環境の不十分さ

自家用車への依存度が高い本市においては、加速する少子高齢化の流れを踏まえて、歩いて暮らせるまちづくりの重要性がますます高まっている。

【新計画目標】

【中心市街地活性化の方針】

【基本方針①】街へ行きたくなる“場面”づくり

中心市街地を活性化するためには、まずは街を訪れ、活動する人口の絶対数を増やす必要があることから、来街者数を増やすことを基本方針に掲げ、新ホールの整備やJR徳島駅前の商業ビルの再生など、街を訪れる目的となるランドマーク施設の整備に取り組む。

→目標:来街者数の増加【ランドマーク施設来館者数】

全21事業

【基本方針②】街を巡りたくなる“動線”づくり

にぎわいを創出し、域内での消費活動を活発にするためには、街を巡る人口を増やす必要があることから、回遊者数を増やすことを基本方針に掲げ、ランドマーク施設への来館者が他のエリアへ回遊する仕組みづくりとして、徳島の文化を生かした楽しみの提供やまち歩き観光の推進などに取り組む。

→目標:回遊者数の増加【まちなか歩行者通行量(平日・休日平均)】

全29事業

【基本方針③】街に住みたくなる“空間”づくり

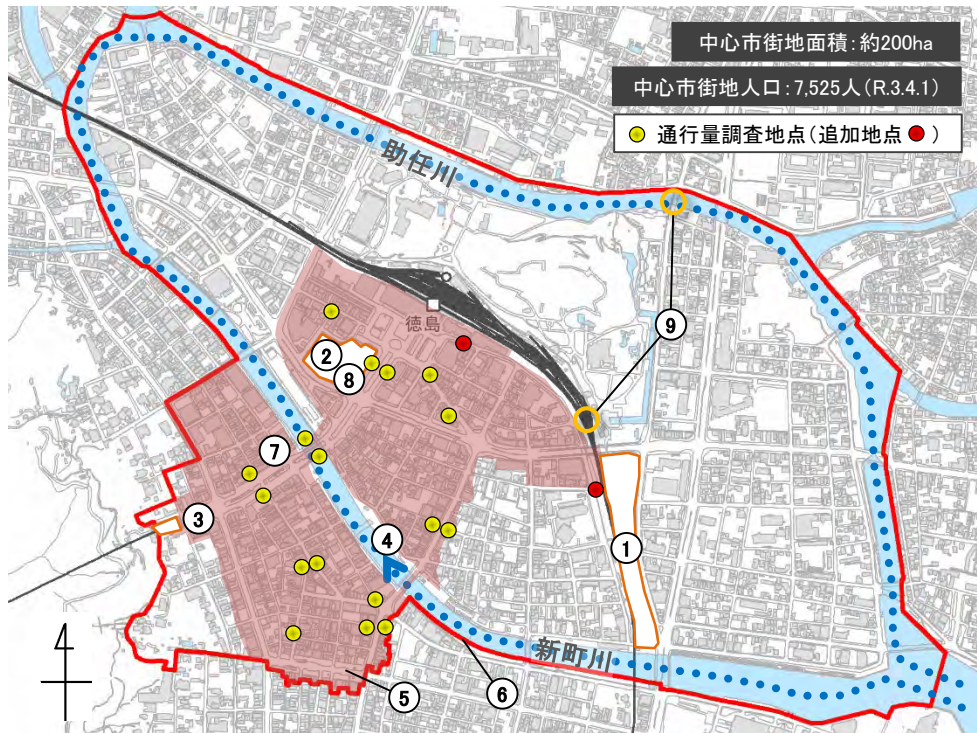
人口減少を踏まえた持続可能な地域づくりを進めていくためには、まちなか居住を推進する必要があることから、居住者数を増やすことを基本方針に掲げ、高齢化社会を見据えて「歩いて暮らせる」まちづくりに必要なインフラ整備を進めるとともに、市街地の開発や移住促進などに取り組む。

→目標:居住者数の増加【まちなか居住者数】

全16事業

| 目標 | 目標指標 | 基準値 | 推計値 | 目標値 |
|---------|---------------------|-------------|-------------|-------------|
| 来街者数の増加 | ランドマーク施設来館者数 | 2,441千人(R2) | 2,589千人(R8) | 3,741千人(R8) |
| 回遊者数の増加 | まちなか歩行者通行量(平日・休日平均) | 15,697人(R2) | 16,494人(R8) | 20,807人(R8) |
| 居住者数の増加 | まちなか居住者数 | 7,546人(R2) | 7,158人(R8) | 7,567人(R8) |

徳島市中心市街地活性化基本計画の事業概要



街へ行きたくなる“場面”づくり (来街者数の増加)

① 徳島文化芸術ホール(仮称)整備事業

新たな文化ホールを県市協調整備するとともに、新駅や周辺施設の整備を行うことにより、来街者を増加させる。整備後は徳島ならではの文化・芸術発信に加え、各種コンベンションなどの拠点として活用する。



② 徳島駅前再生事業

JR徳島駅前のアミコビルについて、県立青少年センターの機能移転やテナント誘致に向けた施設改修の支援など、そごう徳島店の閉店後における徳島駅前の再生に向けた支援を行う。

③ 阿波おどりの開催、阿波おどり会館の運営

本市最大の観光資源である「阿波おどり」を開催し、国内外からの観光客を誘致する。また、阿波おどり会館においては、1年を通して阿波おどりを楽しめるようホールやミュージアムを開設している。



④ ひょうたん島周遊船運航事業

水都徳島の特徴を生かし、川からのにぎわいを創出するため、ひょうたん島を巡る周遊船を運航する。
※NPO法人が主体となって原則毎日運航。



⑤ 中心市街地出店支援事業

そごう徳島店の閉店に伴う駅前のにぎわい喪失を防ぐため、空き店舗に出店する場合などを支援する。



⑥ フィールドアトラクション発掘・発信事業

これまで観光コンテンツとして注目されていなかった中心市街地の地域資源を使った体験プログラムを磨き上げ、街を回遊する楽しみ方を発掘・発信する。



⑦ 新町西地区市街地再開発事業

JR徳島駅と阿波おどり会館を結んだシンボルゾーンの中に位置する新町西地区において、集合住宅・宿泊施設・商業施設・川の駅等が一体となった再開発を実施する。



⑧ 移住促進事業

移住交流支援センターの運営や移住希望者に対する支援等を実施するとともに、ワーキングホリデーや阿波おどり留学など関係人口創出事業を展開する。



⑨ 道路メンテナンス事業

橋梁長寿命化計画及び耐震化計画に基づき、橋梁の長寿命化対策、耐震化対策を行う。

街を巡りたくなる“動線”づくり (回遊者数の増加)

街に住みたくなる“空間”づくり (居住者数の増加)